

9月定例会は、9月12日から19日までの8日間の会期で開かれ、平成25年度各会計の歳入歳出決算など町長提出議案18議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり承認、可決、認定されました。

## ■健全化判断比率並びに公営企業資金不足比率の報告

・(連結) 実質赤字比率、及び公営企業資金不足比率は赤字額・資金不足額がないため発生しない。

○実質公債比率7.9%

(対前年比△1.3%)

○将来負担比率33.7%

(対前年比△13.7%)

## ■特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

■家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

■放課後児童健全育成事業に関する基準を定める条例

・子ども・子育て支援法、児童福祉法の規定に基づき、認定こども園や保育施設、家庭的保育事業等

の設備、学童クラブの設備及び運営に関する基準を定めたもの。

## ■町営住宅管理条例の一部改正

・中国残留邦人等の円滑な帰国促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律の改正に伴う、町営住宅の入居基準の改正。

## ■辺地総合整備計画の変更

・平成23年に策定した計画のうち、及位地区の町道(鏡沢線)に係る事業費等の変更。

## ■一般会計補正予算

・既決48億7,420万円に1億2,100万円を追加。

問 農家への米価下落の対応は。

産業課長 県の取り組みについて今後も確認をしていくことと、これから

の米価の動きを注視していく。

問 環境王国推進費を440万円の予算計上は、29年度開催の全国食味コンクールへの事前取組と

思うがその内容は、また、今年産の米価下落により米つくり(特裁米)の土気の低下が懸念されるがその対策は。

産業課長 推進本部を設立し、講演会を開催し気運を高め、食味コンクールで使用している食味分析計を購入する。なお生産者の研究力を高めながら栽培者の意向を聴き資材を含め支援していく。

問 社会保障・税番号システムについて住民にとってどのようなこととなるのか。

町民課長 個人情報の統一化が趣旨であり、社会

保障・税制度の効率化により公平性を保つことと28年1月から施行する。

問 まむろ川大使の経費はどのように使うのか。

企画課長 桂吉弥師匠の他に、当町にゆかりのある柳家小袁治師匠を大使に任命したいと考えている。

問 梅里苑で、入浴したばかりで停電のためゆつくり入浴できなかった方がいると聞いているが、配慮ができなかったのか。

産業課長 停電については落雷被害で、ポンプ・配電盤を修理し2日間の休業で対処した。その間の照明などチップボイラーで対応した。入浴できなかった方には天災時であつたので利用者の理解を得たい。

## ■介護保険特別会計

補正予算

・既決10億7,510万円に760万円を追加。  
・介護保険料還付金 15万円  
・過年度国庫交付金精算

返納金 744万円

## ■町立真室川病院事業会計補正予算

・資本的収入の国庫補助金に、国保調整補助金を270万円追加、病院事業債を270万円減額。

業特別会計補正予算  
・既決1億1,600万円に1,000万円を追加。  
・源泉ポンプ修繕費用(落雷被害)400万円  
・遊楽館駐車場舗装整備費 600万円

(主な歳出)

項目	金額	備考
ふるさと納税経費	2,531万円	ふるさと納税返礼品に関連する費用
社会保障・税番号制度システム改修	792万円	平成28年度からの運用に向けた改修費用
除雪ボランティア推進事業費	240万円	社会福祉協議会に対する補助
多面的機能支払交付金等	940万円	農地・水・環境保全向上対策事業の変更
環境王国推進経費	447万円	米食味分析計購入費等、講演会開催費等
梅里苑事業特別会計操出金	1,000万円	落雷被害破損の源泉ポンプ修繕等
道路維持費	1,320万円	町道維持補修工事追加等
道路改良舗装事業費	1,112万円	町道橋梁ボックスカルバート化工事等
防災力基盤強化事業費	1,654万円	避難所バリアフリー化、耐震改修費補助
公民館費	414万円	中央公民館暖房設備修繕料等

## ■地域が生き残るためのほ場整備を ■防災放送のメロディーを変えては

町長

- 最重要事業として位置付けしっかり支援する
- 「町民歌」を流すことを検討する



高橋 秀則 議員

議員 3地区(平岡・春木・北部)のほ場整備の調査事業が開始した。また、その他の地区でも計画されている

ようだが、事業助成に伴なう町負担財源は大丈夫なのか。

町長 本年度から事業着手している3地区に加え、川ノ内、矢の沢、中村、平枝地区において申請が提出されている。また、共栄・野々村地区などでも機運が高まっている。これらの面積合計300haと見込み、工事費の合計は57億円と試算し、その中で町負担が10%と規定されている。町の農業を左右する重要な取り組みであり、中期の財政計画において最重要事業と位置付けて、しっかり支援していく。

議員 ほ場整備を計画している地区はどのような事業経営また地域形成を目指して実施していくのか。

町長 今後進められる調査計画の中で、地域の営農計画や地域の将来像を十分検討していただく、地域内の十分な合意形成のもとに事業の実施を指導していく。

議員 ほ場整備完成後の農業、地域の姿を、どのように描いているのか。

町長 地域内の農地と労働力を結集した集落営農組織づくりなど新たな経営体の育成を推進しながら、「環境王国」の認定などを活かし6次産業化の取り組みに力を入れ就労の場を確保することにより所得の向上に結び付けていく。

議員 防災放送の定時放送時に流すメロディーを季節にあつた曲や、町の行事日は、「町民歌」を流すとか、変えてみてはどうか。

町長 夕方6時に流している「真室川音頭」

にくらべ「町民歌」をご存知の方は少ないように思う。「町民歌」を普及啓発していくためにも定時放送時に流すことを検討する。



法人経営により省力化